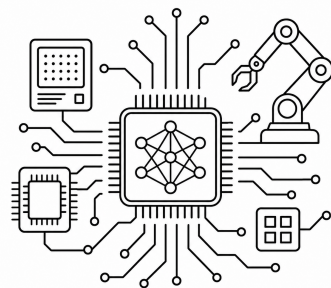




第500回機振協セミナー

令和7年度機械振興協会経済研究所成果報告
主催：(一財)機械振興協会経済研究所



AI時代における 日本のICT機器・ロボット産業の位置づけと課題

生成AIが急速に普及し、AIインフラ投資が進むなかで、ICT機器やロボットを含むハードウェア産業への波及効果について関心が改めて高まっている。こうした変化のなかで、日本のICT機器産業およびロボット産業はどのような位置にあり、どのような役割を担うのだろうか。本セミナーでは、令和7年度の機械振興協会経済研究所の調査研究事業の成果報告として、この問題についての2つの報告を行う。

報告1では、貿易統計と国際産業連関表を手がかりに、ICT機器産業をめぐるGVCが再編されるなかで、日本がどのような役割を担っているのかを考える。日本の輸出がどの品目・工程へ重心を移してきたのか、また中間財輸出に含まれる国内付加価値が海外のどの地域・用途の需要によって実現されているのかを辿ることで、日本のICT機器産業の国際分業上の位置づけとその変化を明らかにする。

報告2では、「フィジカルAI」やヒューマノイドロボットの興隆がロボット、特にサービスロボットの開発促進に繋がっているのか、さらには人手不足などの社会課題をロボットで解決することに本当に貢献しているのだろうかという問題を考える。

開会挨拶

(一財)機械振興協会経済研究所 所長

森川 正之

報告1「日本のICT機器産業の貿易構造とGVC上の位置づけ」

(一財)機械振興協会経済研究所 研究員

鐘 嘉許

報告2「AI時代のロボット開発の課題と展望」

(一財)機械振興協会経済研究所 研究主幹

森 直子

モデレーター

(一財)機械振興協会経済研究所 研究主幹

山元 哲史

●会場：機械振興会館 6階 6-67会議室

東京都港区芝公園3-5-8

事前申込制(先着50名 参加費無料)

※オンデマンド・アーカイブ視聴での申し込みもできます。

●お申込み方法

URL：<https://forms.gle/JQ6Bhaeq5XWVcMFu8>

または右記コードよりお申し込みフォームへアクセスし、7月3日(金)までにお申し込みください。

受講票は発行いたしません。

ご提供頂く個人情報は、当協会セミナー、講演会及び展示会関連等に使用致しません。

なお、セミナー中の録画や録画した映像の転載は禁止させていただきます。

2026年

7月7日(火)

13:30~15:50

